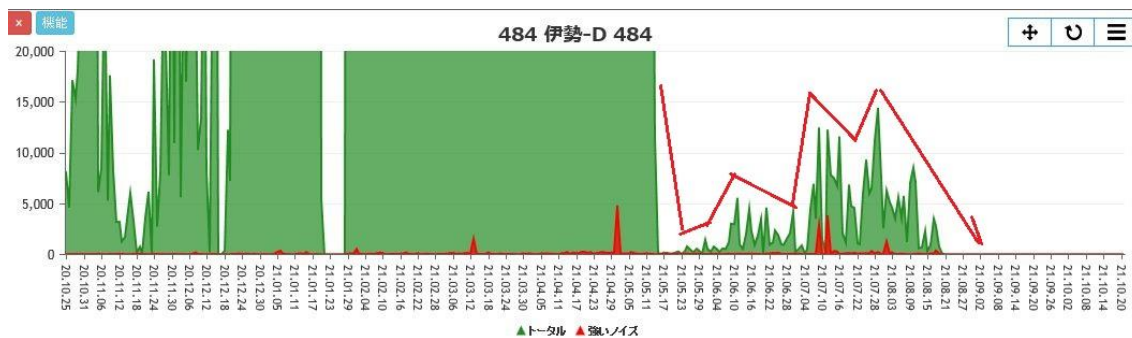


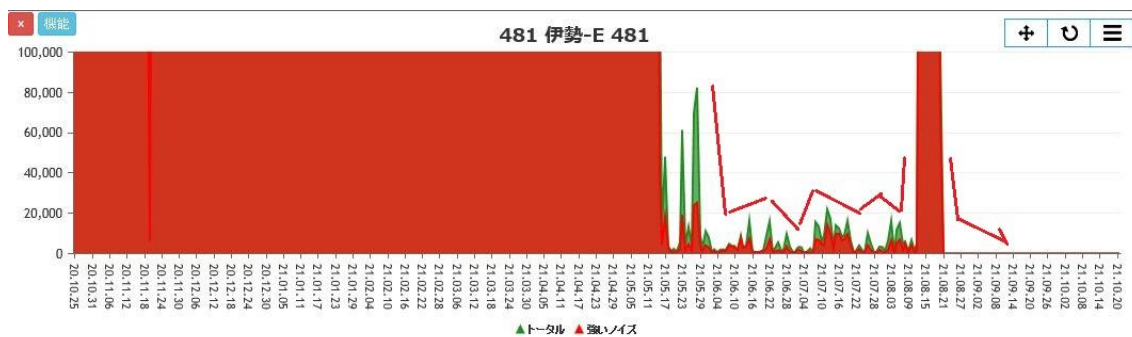
以下に各地の 360 日間の日毎データを拡大して 補助線を入れて載せています。
 こうして多くのデータを見ると、大体が、早いと 5 月、遅いと 7 月ごろから減衰をしていき現在はピークの大きさからみてずっと小さいデータで増減をしています。
 繰り返しですが関西の大地震の予想についてはいったん解除していますが、その後、どのデータも大きな反発して上昇傾向にならないことが不思議です。あるいはまだ関西地方に大きなエネルギーが蓄積されたままになっていて、静かに解放のタイミングを待っているのかもしれませんが。
 また昨日（8 月 19 日）に近畿地方に大きな棒状の雲が出現しました。ニュースではアーチ雲といって寒気と暖気の境目に発生するめずらしい雲とのことですが 古くから研究されている地震雲の 1 種にも見えますがなにか関西の大地震に関連があるかもしれません。この資料の後ろに写真を載せています。
 さらに最後に今月の月齢表を載せていますが 8 月は今日 8 月 20 日から 4 日後の週明け 24 日が満月になります。そこまでの間に長期大型データがどのように変化するか、注意したいと思います。

各地 360 日日毎データ（拡大）

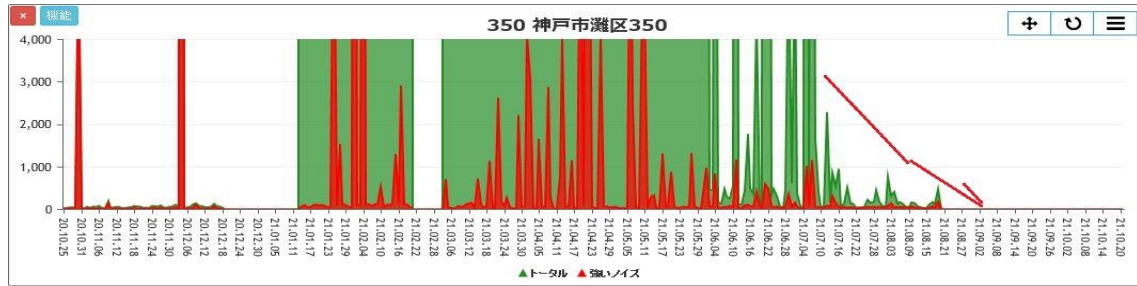
伊勢 D484



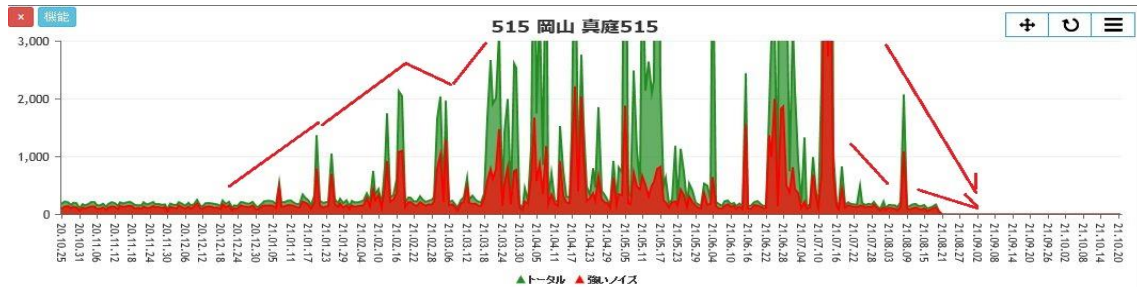
伊勢 E 481



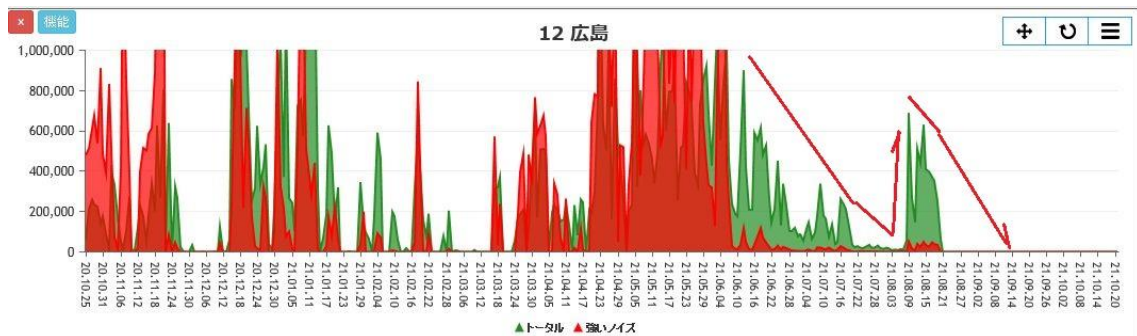
神戸市灘区



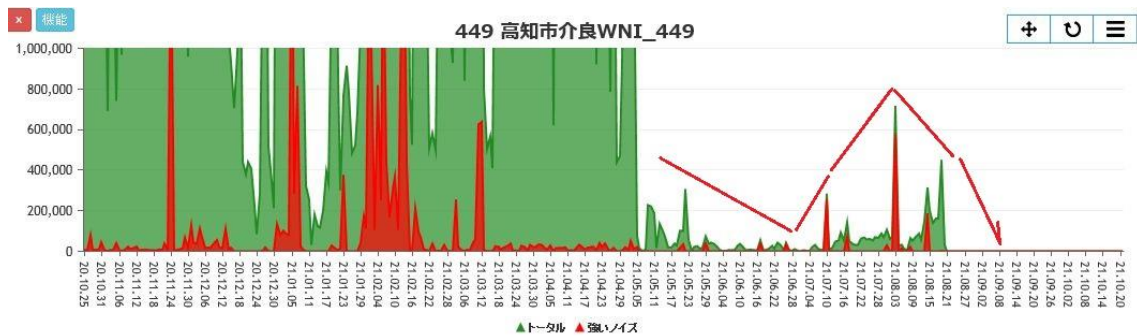
岡山 真庭



広島



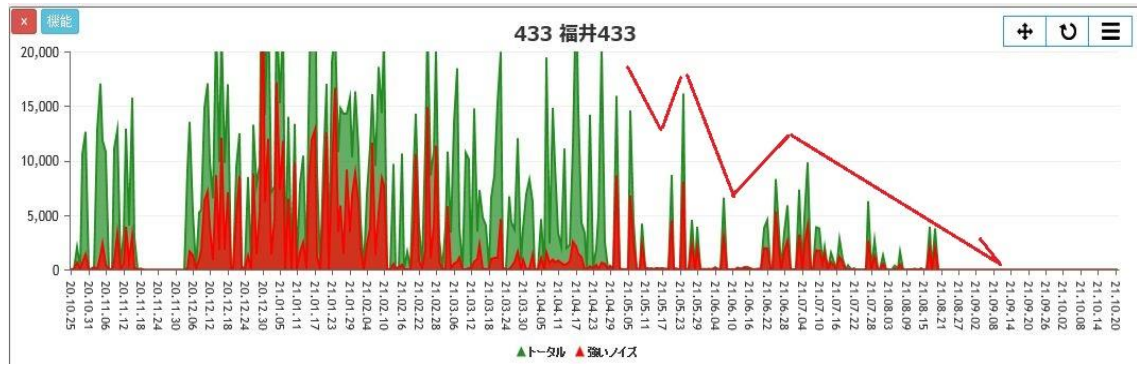
高知市介良



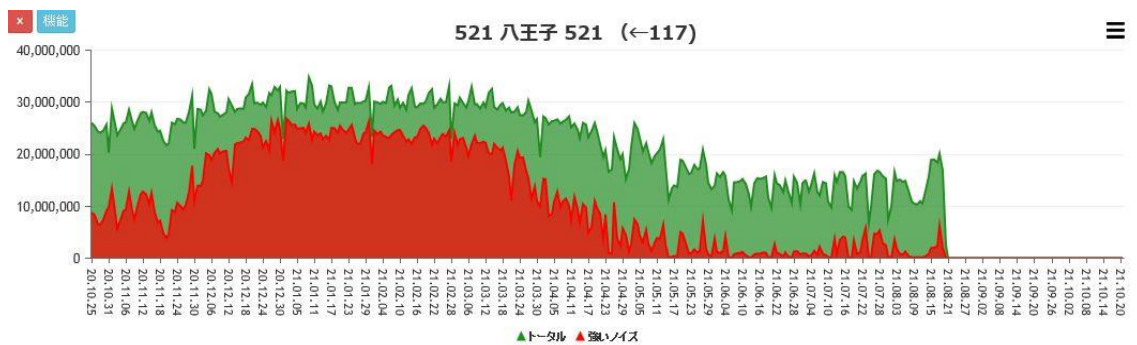
その他 安曇野



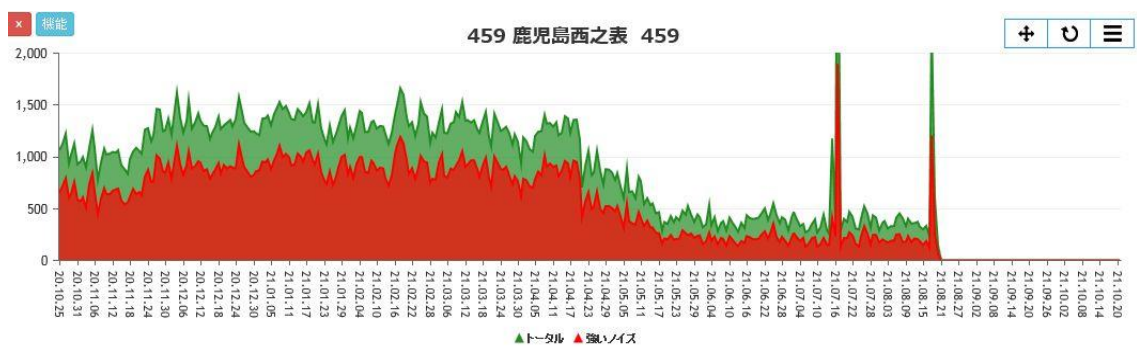
福井



八王子

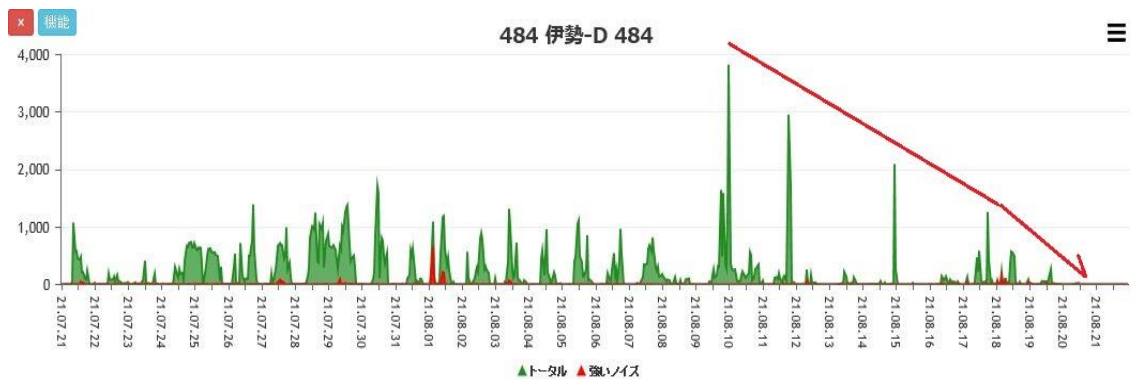


鹿児島 西之表



その他 02 30 日間データ

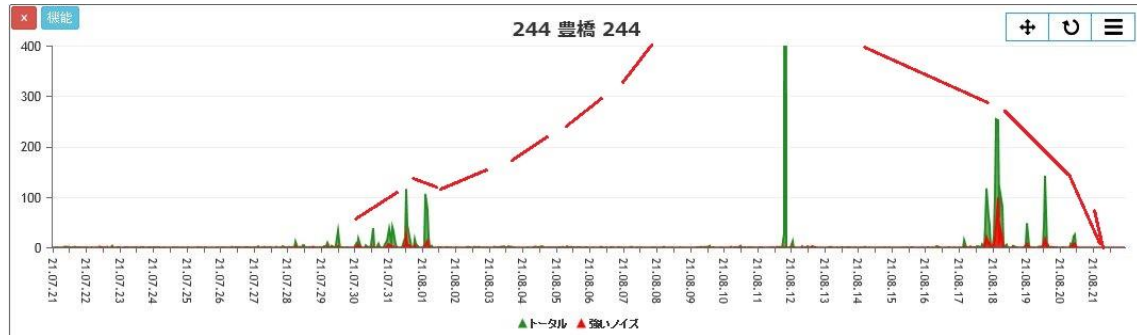
伊勢D484 30 日間データ



長野 白馬 30日間データ



豊橋 244 30日間データ



8月19日近畿（大阪）のアーチ雲（NHKのニュースより）



← PREV 2021年8月の月齢 NEXT →

2021年 8 月 表示

日	月	火	水	木	金	土
1 22	2 23	3 24	4 25	5 26	6 27	7 28
8 29	9 0	10 1	11 2	12 3	13 4	14 5
15 6	16 7	17 8	18 9	19 10	20 11	21 12
22 13	23 14	24 15	25 16	26 17	27 18	28 19
29 20	30 21	31 22				